【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公開番号】特開2008-284342(P2008-284342A)
【公開日】平成20年11月27日(2008.11.27)
【年通号数】公開・登録公報2008-047
【出願番号】特願2008-77161(P2008-77161)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｂ　17/14　　(2006.01)*
*Ａ６１Ｂ　19/00　　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/14
Ａ６１Ｂ　19/00　　５０２

【手続補正書】
【提出日】平成23年3月7日(2011.3.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
整形外科手術中に骨を切削するためのシステムであって、
骨鋸刃組立体を含む骨鋸器具（１００）であって、前記骨鋸刃組立体は、
骨鋸のチャックに結合されるように構成された取付け端部、および多数の切歯を有する刃先を有する、骨鋸刃（１１８）、ならびに、
前記骨鋸刃に結合された骨鋸刃ガード（１２０）であって、前記骨鋸刃に対して引戻し位置から延出位置まで移動可能であり、前記延出位置に位置されている場合、前記骨鋸刃の有効切削範囲を縮減する、骨鋸刃ガードを含み、
前記切削システムは、空間座標系（１０８）を定めるコンピュータ支援整形外科手術システムであり、前記切削システムは、前記骨鋸器具に取り付けられた基準アレイ（１０６）をさらに含むことを特徴とする、
骨鋸器具（１００）と、
前記座標系内における前記骨鋸器具の位置に関するデータを収集するため、前記骨鋸器具の前記基準アレイと協働する、感知装置（１４、１６）と、
コンピュータ（１２）であって、前記感知装置を用いて得た位置データに基づいて前記座標系内における前記骨鋸器具の位置を決定し、また、前記骨鋸器具の位置が所定の切削領域にない場合に前記骨鋸刃ガードを前記引戻し位置から前記延出位置まで移動させるように前記骨鋸器具に送信される信号を生成する、コンピュータと、
を含む、切削システム。
【請求項２】
請求項１に記載の切削システムにおいて、
前記骨鋸刃ガード（１２０）は、前記骨鋸刃（１１８）の幅に少なくとも等しい幅を有するスラット（１３２、１３４）を含む、切削システム。
【請求項３】
請求項１に記載の切削システムにおいて、
前記骨鋸刃ガード（１２０）は、延出位置に移動可能な複数のスラット（１３２、１３４）を含み、これら複数のスラットはそれぞれ、前記延出位置にある場合、前記骨鋸刃（

１１８）の多数の切歯の一部を覆う、切削システム。
【請求項４】
請求項１に記載の切削システムにおいて、
前記骨鋸刃ガード（１２０）は、前記骨鋸刃（１１８）の第１の側に位置付けされた第１の骨鋸刃ガード（１３２）、および前記骨鋸刃の第２の側に位置付けされた第２の骨鋸刃ガード（１３４）を含む、切削システム。
【請求項５】
請求項４に記載の切削システムにおいて、
前記第１の骨鋸刃ガード（１３２）および前記第２の骨鋸刃ガード（１３４）はそれぞれ、延出位置に移動可能な複数のスラットを含み、これら複数のスラットはそれぞれ、前記延出位置にある場合、前記骨鋸刃（１１８）の多数の切歯の一部を覆う、切削システム。
【請求項６】
請求項１に記載の切削システムにおいて、
前記骨鋸刃ガード（１２０）は、前記骨鋸刃（１１８）と同一平面にある複数のスラット（２００）を含む、切削システム。
【請求項７】
請求項６に記載の切削システムにおいて、
前記複数のスラット（２００）はそれぞれ、前記骨鋸刃（１１８）に画定された対応するスロット（２０２）内に位置付けされ、前記延出位置にある場合、前記骨鋸刃の端部を越えて延在する、切削システム。
【請求項８】
請求項７に記載の切削システムにおいて、
前記複数のスラット（３００）はそれぞれ、前記スラットの側壁から外側に突出したレール（３２２）を含み、このレールは、前記骨鋸刃（１１８）の細長い切歯の側壁に画定されたスロット（３２０）内に受容されている、切削システム。
【請求項９】
請求項６に記載の切削システムにおいて、
前記骨鋸刃ガード（１２０）は、前記複数のスラット（３００）に結合され、かつ、前記骨鋸刃（１１８）に画定された内部通路内に位置付けされた、プッシュロッド（３０８）を含む、切削システム。
【請求項１０】
請求項１に記載の切削システムにおいて、
前記骨鋸刃ガード（１２０）は、第１のバンパー（７００）および第２のバンパー（７０２）を含み、前記第１のバンパーは、前記骨鋸刃（１１８）の第１の側に向いて位置付けされており、前記第２のバンパーは、前記骨鋸刃の第２の側に向いて位置付けされており、
前記骨鋸刃は、前記第１のバンパーおよび前記第２のバンパーが前記延出位置にある場合、動作の際に、前記第１のバンパーおよび前記第２のバンパーに周期的に接触する、切削システム。